

行政評価票

整理番号【10】

⑤補助金・交付金

予算事業名	歳末助け合いみすみ余芸大会補助事業	11156	作成部課	市民福祉部 三隅支所福祉課
補助金名	地域福祉まるごと支援推進事業		作成者(内線)	課長補佐 福原 誠(32-125)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	I	健康でいきいきと暮らせるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	I-5	市民との協働による地域福祉の推進	予算費目(款)	03	民生費
小分類(中施策)	I-5-3	ボランティア、NPOとの連携	予算費目(項)	01	社会福祉費
個別計画			予算費目(目)	01	社会福祉総務費
55億円財源計画	6	4	9	歳末助け合いみすみ余芸大会補助金の見直し	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田市社会福祉協議会	意図	歳末たすけあい運動の推進を図り、もって地域福祉の推進に寄与する	
内容	歳末たすけあいみすみ余芸大会の運営に要する経費を交付する。				
開始年度	平成	2	年度	根拠法令・要綱等	歳末たすけあいみすみ余芸大会補助金交付要綱

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	206	206	200	募金配分金	千円	1,236	1,346	1,490	
財源内訳									
国県支出金									
地方債									
特定財源									
一般財源	206	206	200						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	268	265	259						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
地域・福祉活動及び重度介護者世帯への支援金	目標値	1,475	千円	1,475	1,490	1,490	地域住民の理解を得て地域で支えあう意識を高めていくため、事業の達成度を90%台で維持していく。
	実績値	1,236		1,236			
	達成度	84%		90%	0%		
	目標値						
	実績値						
	達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	この余芸大会は、助け合いの輪を広げる目的でスタートし20回を迎える。年々支援世帯が増加した中で、支援金を確保することが厳しくなっている。多くの方々の理解を得る方策として、余芸大会入場券から協力券に名称変更して、募金への協力をお願いしている。別途の共同募金会からの配分金の補完事業として推進する必要性が大いにあるが、助け合いの精神が希薄化傾向になっていることが課題である。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	地域住民の参加による事業で、協力する人や協賛店、余芸大会を通して多くの住民の方々の物心両面から、要支援者の生活を支えあっている事業であり必要性は4とした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・平成21年度に補助金3%カットをしており、多くの市民参加もあることから継続すべき。また、余剰金は全額市民に還元されており有効

行政評価票

整理番号【11】

⑤補助金・交付金

予算事業名	地域福祉まるごと支援推進事業	010187	作成部課	市民福祉部 地域福祉課
補助金名	戦没者慰霊祭補助金		作成者(内線)	地域福祉係長 三浦修三(163)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	- その他		予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)			予算費目(款)	03	民生費
小分類(中施策)			予算費目(項)	01	社会福祉費
個別計画			頁	01	社会福祉総務費
55億円財源計画					
実施主体	その他		事業区分	任意の事業	
目的	対象	慰霊大祭実行委員会	意図	戦没者へ追悼を捧げるとともに、恒久平和の実現に資する	
内容	慰霊祭開催に係る経費を助成				
開始年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	戦没者慰霊祭補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	150	150	150	補助金額	千円	150	150	150	
財源内訳	国県支出金			慰霊大祭経費	千円	3,350	3,350	3,350	
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	150	150						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	150	150	150						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標	単位	H19	H20	H21	長期目標等
	追悼慰霊祭開催回数	目標値	回	1	1	1
実績値		回	1	1	1	
達成度			100%	100%	100%	
目標値						
実績値						
達成度						
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化 等	特になし					

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	団体活動の趣旨からして、必要性、有効性、公平性、妥当性とも4の評価をした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>長い歴史の中で慣例化しており、事業の性格から見直しは困難</li> <li>実行委員会形式ではあるが、市から助成金を出すことに疑問。決算剰余金が護国神社の経常経費に充当されているのではないかと。監査等の見解を確認の上、必要であれば他の手法を検討すべき。</li> </ul>

行政評価票

整理番号【12】

⑤補助金・交付金

予算事業名	地域福祉まると支援推進事業	010187	作成部課	市民福祉部 地域福祉課
補助金名	陸軍墓地慰霊祭補助金		作成者(内線)	地域福祉係長 三浦修三(163)

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	-	その他	予算費目(会計)	01	一般
中分類(施策)			予算費目(款)	03	民生費
小分類(中施策)			予算費目(項)	01	社会福祉費
個別計画			頁	01	社会福祉総務費
55億円財源計画					
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	浜田陸軍墓地保存顕彰会	意図	戦没者へ追悼を捧げるとともに、恒久平和の実現に資する	
内容	慰霊祭開催に係る経費を助成				
開始年度	平成	18年度	根拠法令・要綱等		

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	0	0	30	補助金額	千円	0	0	30	
財源内訳	国県支出金			慰霊祭経費	千円	0	0	140	灯籠新設基金約100千円
	地方債								
	特定財源								
	一般財源	0	0						
職員数(人)	0.00	0.00	0.00						
人件費(千円)	0	0	0						
総事業費(千円)	0	0	30						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	追悼慰霊祭開催回数	目標値		回	1	1	
実績値				0	0	-	
達成度				0%	0%		
目標値							
実績値							
達成度							
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	実施者の代表が病気になり、平成19年度は開催はしたが、補助金の申請を辞退。平成20年度は開催されていない。 戦没者遺族が高齢化し、戦争の記憶と慰霊を誰がどう引き継いで行くかが課題。						

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	団体活動の趣旨からして、必要性、有効性、公平性、妥当性とも4の評価をした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	D	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成20年度に団体が廃止されており、補助金も廃止が妥当</li> <li>団体の決算書にある灯籠新設基金について、処分方法を確認することが必要</li> </ul>

行政評価票

整理番号【19】

⑤補助金・交付金

予算事業名	児童福祉総務事務費	302545	作成部課	市民福祉部 三隅支所 福祉課
補助金名	なかよし交流会補助金		作成者(内線)	課長補佐 福原 誠

I. 事業の基本的事項(政策体系、目的)

まちづくり大綱	I	健康でいきいきと暮らせるまち	予算費目(会計)	01	一般会計
中分類(施策)	I-3	子どもを安心して生み育てる環境づくり	予算費目(款)	03	民生費
小分類(中施策)	I-3-1	子育て支援サービスの充実	予算費目(項)	02	児童福祉費
個別計画			予算費目(目)	02	児童福祉総務
55億円財源計画	6	4	10	のびのびなかよし交流事業補助金	
実施主体	補助【民間その他】		事業区分	任意の事業	
目的	対象	三隅町保育所(園)保護者会	意図	町内保育所と在宅の子どもと保護者が交流し、子どもの心身の健全育成を図る	
内容	三隅自治区内の保育所の子どもと保護者が交流し、心身の健全育成を図る				
開始年度	平成	4	年度	根拠法令・要綱等 浜田市補助金等交付規則、のびのびなかよし交流会補助金交付要綱	

II. 事業コスト、活動指標

事業コスト	H19決算	H20決算	H21予算	活動指標(実績)	単位	H19	H20	H21目標	備考
事業費(千円)	190	190	180	園児参加者数	人	147	153	153	
財源内訳	国県支出金			在宅児参加者数	人	15	13	15	
	地方債								
	特定財源			保護者参加者数	人	146	184	193	
	一般財源	190	190						
職員数(人)	0.01	0.01	0.01						
人件費(千円)	62	59	59						
総事業費(千円)	252	249	239						

III. 事業の成果指標と目標値

成果指標	事業目的の成果を測る指標		単位	H19	H20	H21	長期目標等
	目標値	実績値					
【現状と課題】 事業開始からの 状況変化等	園児と在宅児が参加する交流会を、保護者が子どもたちを地域の中で育てていく人間的な繋がりを喚起する機会として捉える。	人	目標値	279	249	252	目標値と実績値が近づくようにする。そのために、在宅児への情報発信と日頃の情報交換を密にする。
		人	実績値	162	166		
		人	達成度	58%	67%	0%	
		人	目標値				
			実績値				
			達成度				

IV. 事業評価(1次評価・自己評価/2次評価・行政評価委員会)

1次評価	必要性	4	保護者の勤務の関係から三隅自治区以外の保育所利用児は利用できないこともあるが、小学校入学する前までに多くの子どもが知り合う目的で、保育所通園児や一時保育利用児、在宅保育児の参加があり地域での子どもの成長を支援するつながりができているので4とした。
	有効性	4	
	公平性	4	
	妥当性	4	
2次評価	総合評価	A	・平成21年度に補助金5%カットしている。三隅自治区のみのも事業であるが、未就学児童の育成という観点から個性あるまちづくりとして継続すべき。